

アコマスタイレット

【警告】

使用方法

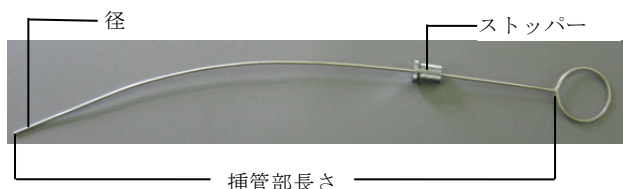
- (1) 滅菌してから使用すること。
- (2) 反復して使用することで、金属疲労を起こし折損する場合があります。
- (3) 有資格者以外は使用しないこと。

【禁忌・禁止】

使用方法

- (1) スタイレットの先端を気管内チューブよりも突出させないこと。
[気管を損傷させる可能性がある]
- (2) 使用前点検をおこない、次のような場合は使用しないこと。
[金属疲労により折損することがある]
 - ・ 曲げ伸ばしをおこない、この時に硬く感じる場合。
 - ・ 表面に亀裂、ささくれまたはメッキのはがれが生じている場合。
- (3) 耐用期間に記載された使用限度を超えないこと。
- (4) 気管内チューブよりも極端な角度で曲げ伸ばしをしないこと。

**【形状・構造及び原理等】



寸法

種類	挿管部長さ	径
L	410 mm	2.6 mm
S	300 mm	2.0 mm

**【使用目的又は効果】

気管内チューブを安定させ、声帯の通過を容易にするために用いる器具をいう。通常、軟性金属製である。挿管前に気管内チューブを挿入する。通過時の気管の損傷を防止するため、挿管完了後に抜去する。また、気管内チューブが気管内に挿入されていることを確認するため、先端にランプをつけたものもある。(一般的名称の定義)

**【使用方法等】

- (1) 使用前点検をおこなう。
 - ・ 滅菌され清浄な状態であることを確認する。
 - ・ 曲げ伸ばしをし、この時硬く感じないことを確認する。
 - ・ 表面に亀裂、ささくれまたはメッキのはがれが生じていないことを確認する。これら症状が見られる場合、製品を使用しない。または新しいものと交換する。
- (2) 使用する気管内チューブよりも 1-2 cm 短い位置にストッパーを設定する。
- (3) 適度な湾曲をつけてから気管内チューブに差し込む。

(4) 使用後は、直ちに洗浄液などに浸す。

**【保管方法及び有効期間等】

保管方法

- (1) 清潔な場所に保管する。
- (2) 水のかからない場所に保管する。
- (3) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオン分などを含んだ空気により悪影響の生ずる恐れのない場所に保管する。
- (4) 重みにより破損が生じないように配慮する。
- (5) 滅菌後に保管する場合は、滅菌有効期間を管理する。

耐用期間

使用限度：30 回〔自己認証（当社データ）による〕

【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検事項

- (1) 超音波洗浄器などで洗浄する。
- (2) 洗浄剤を使用する場合は、ソフトブラシなどを使って洗い、その後蒸留水で洗浄剤が残留しないように十分にすすぐ。
- (3) オートクレーブ滅菌は、ストッパーを必ず緩めてからおこなう。また指定の滅菌温度（121℃：15 分以上）で実施する。
それ以外の温度で、オートクレーブ滅菌はおこなわない。
- (4) 十分に乾燥させる。

保守・点検に係る注意

- (1) 超音波洗浄器、オートクレーブ、乾燥器などは、それぞれの製品の添付文書に記載された方法に従って使用する。
- (2) 金属を腐食しない洗浄剤、消毒剤を使用する。
- (3) 廃棄する場合は、感染防止に配慮して医療廃棄物として処分する。

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

*

製造販売業者及び製造業者の名称

アコマ医科工業株式会社

電話番号

03-3811-4151（緊急時も同様）

<https://www.acoma.com>